

即湯ユニット

取扱説明書

保証書付

型式名 QB-5

このたびは即湯ユニットをお買い上げいただき
ましてありがとうございます。

ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をよくお読み
いただき、十分に理解したうえで正しくご使用ください。

■**ユニットの表示について**(→P.1)をご覧ください。製品
の型式名をご確認ください。

この取扱説明書の裏表紙が保証書になっています。

内容をよくご確認ください。

この取扱説明書は、いつでもご覧になれる身近なところ
へ大切に保管してください。

取扱説明書を紛失された場合は、お買い上げの販売店、
または最寄りのガス会社へご連絡ください。

その際、機器本体の銘板をご覧くださいのうえ、型式名をお知らせ
ください。

その他のリモコン操作については、リモコン付属の
取扱説明書も併せてご覧ください。

	もくじ	ページ
ご利用の前に	この製品の特長	1
	即湯運転とは	1
	安全に正しくお使いいただくために	1
	この取扱説明書の表示について	1
	ユニットの表示について	1
	各部の名称とはたらき	2
	システム図	2
	即湯ユニット	2
	台所リモコン《MC-910シリーズ》	3
	台所リモコン《MC-712シリーズ》	5
使い方	ご利用前の準備	6
	機器の準備	6
	即湯運転をするには《MC-910シリーズ》	7
	即湯運転のしかた	7
	予約で即湯運転をする	8
	即湯予約時刻の変更のしかた	9
	即湯運転をするには《MC-712シリーズ》	11
	即湯運転のしかた	11
	予約で即湯運転をする	12
	即湯予約時刻の変更のしかた	13
長くお使いいただくために	冬期の凍結予防をするには	15
	再使用するとき	16
	点検のポイント・お手入れのしかた	17
	点検のポイント(月1回程度)	17
	お手入れのしかた(月1回程度)	17
	給湯戻り口フィルターの掃除	17
	故障かな?と思ったら	18
	アラーム表示について	18
	仕様	19
	アフターサービスについて	20
商品保証書	裏表紙	



この製品の特長

■即湯運転とは

- ◆給湯機器と即湯ユニットの組み合わせで、必要なときに蛇口をあけたらすぐにお湯が出ます。
- ◆寒い冬でも、すぐにお湯が出るからシャワーも快適です。
- ◆お湯が温くなるまでの捨て水がなくなり、待つことも少なくなります。

安全に正しくお使いいただくために

■この取扱説明書の表示について

製品を正しくお使いいただくためや、お使いになる方やほかの方への危害・財産への損害を未然に防止するため、以下のような表示で注意を呼びかけています。

 **警告** この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。

 **注意** この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が軽傷を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

お願い 安全・快適に使用していただくために、よく理解していただきたい内容を示しています。

(→P.XX) 参照ページを示しています。

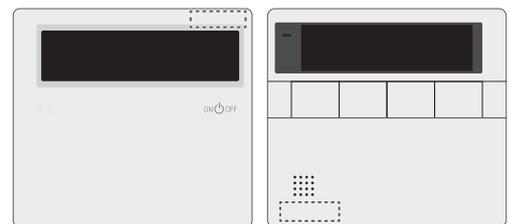
 給湯温度、40℃です リモコンから流れる音声を示しています。(音声は例です)

読み替えについて 給湯機器がヒーツ熱交換器ユニットの場合で電源プラグがパイプシャフト内に無いときは、この取扱説明書の『**電源プラグを抜く**または**差し込む**』と記載してある箇所を『**分電盤のブレーカーを「切」**または**「入」にする**』に読み替えてください。

※この取扱説明書に記載されている各種操作は、リモコンが「ON」でメインボタンのみ点灯した状態(MC-910シリーズ)または「入」になっている状態(MC-710シリーズ)から説明しています。

リモコンの型式名を確認してください

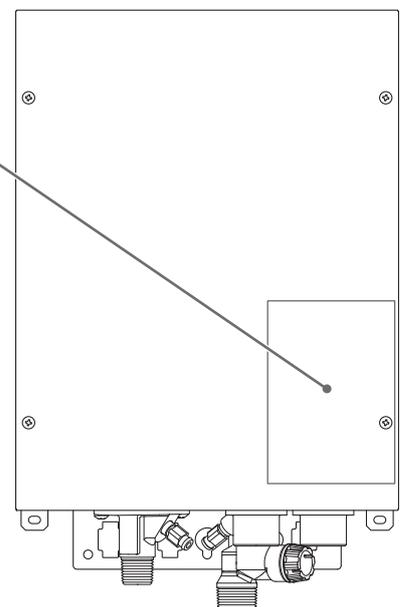
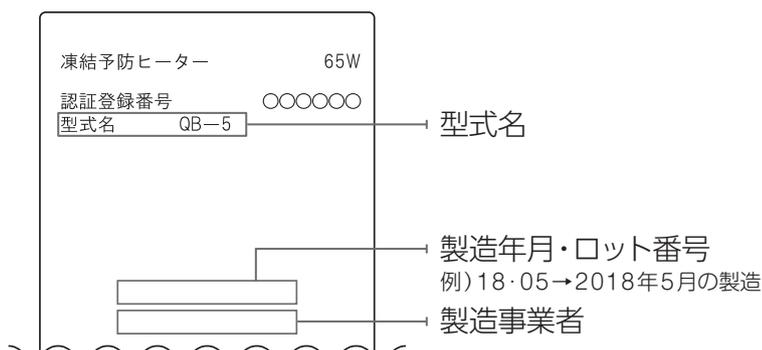
- ・この取扱説明書では、複数のリモコンの説明をしています。リモコンの型式名は図の  部分に記載されています。リモコンの型式名をお確かめになり、取扱説明書をご覧ください。
- ・操作説明のイラストには、MC-911、MC-713E リモコンを使用しています。



■ユニットの表示について

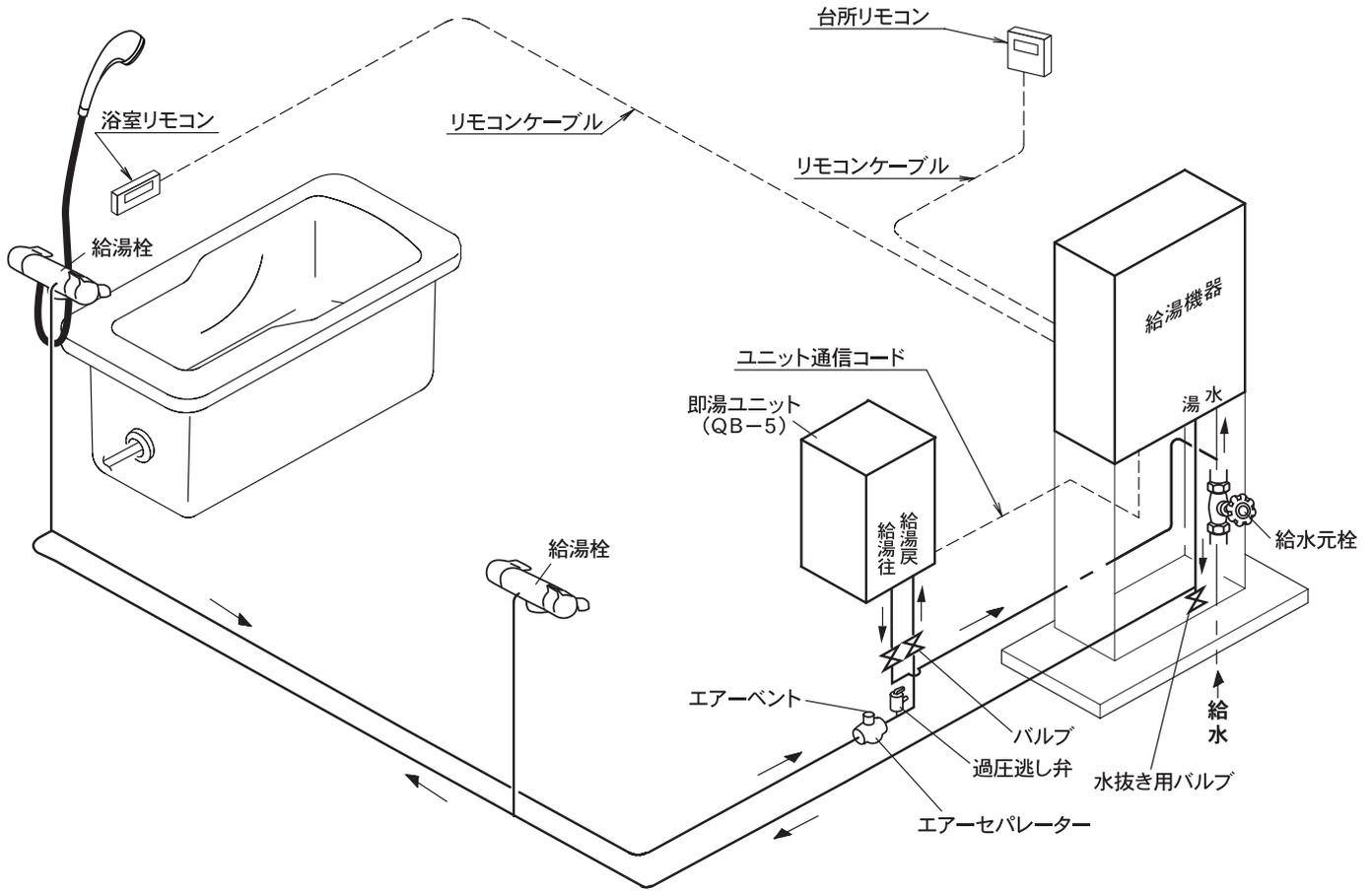
銘板

型式名・製造年月・ロット番号・製造事業者などを表示しています。

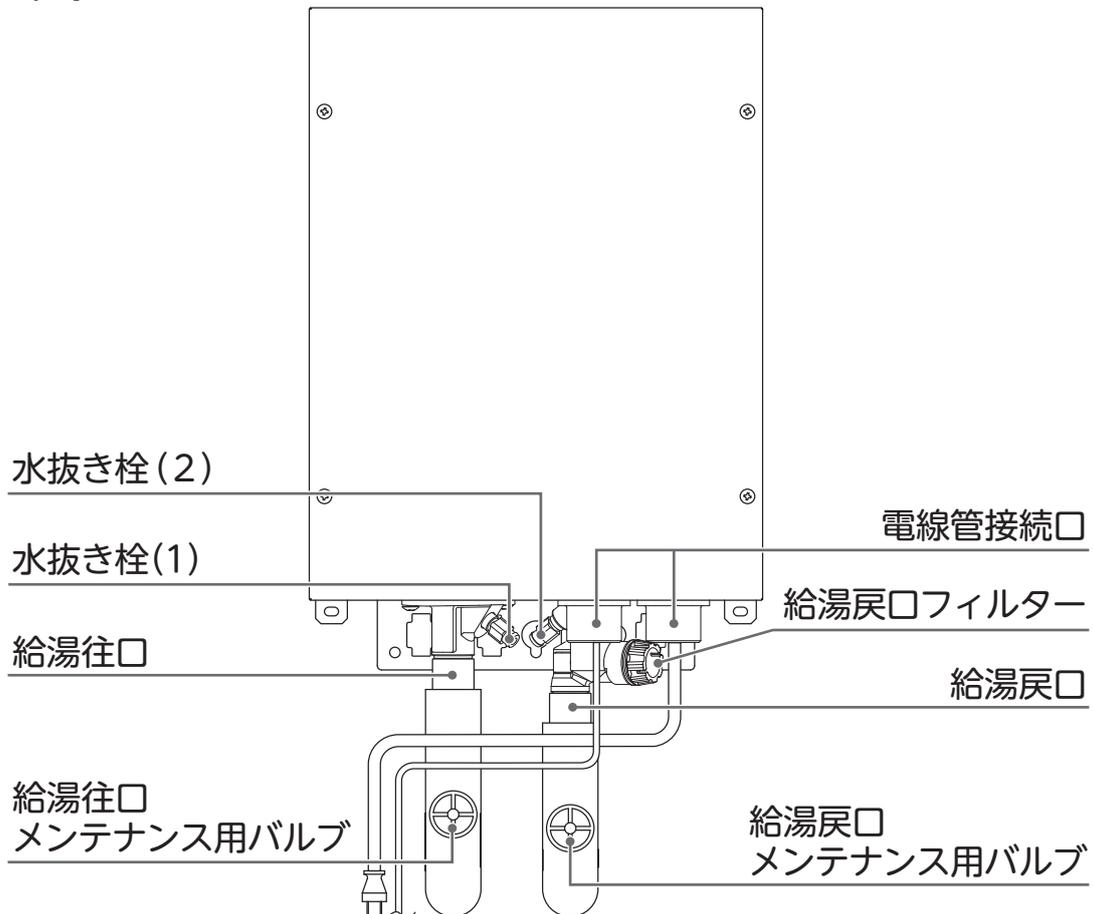


各部の名称とはたらき

■システム図



■即湯ユニット



各部の名称とはたらき

■台所リモコン《MC-910シリーズ》(別売品)

インターホン付:MC-911、XKR-A21H-J / MC-911-WI(無線LAN対応)

MC-921T-WI(B)(無線LAN対応・見守り機能・3か国語対応)

インターホン無:MC-910 / MC-910-BN(B)(単独設置)

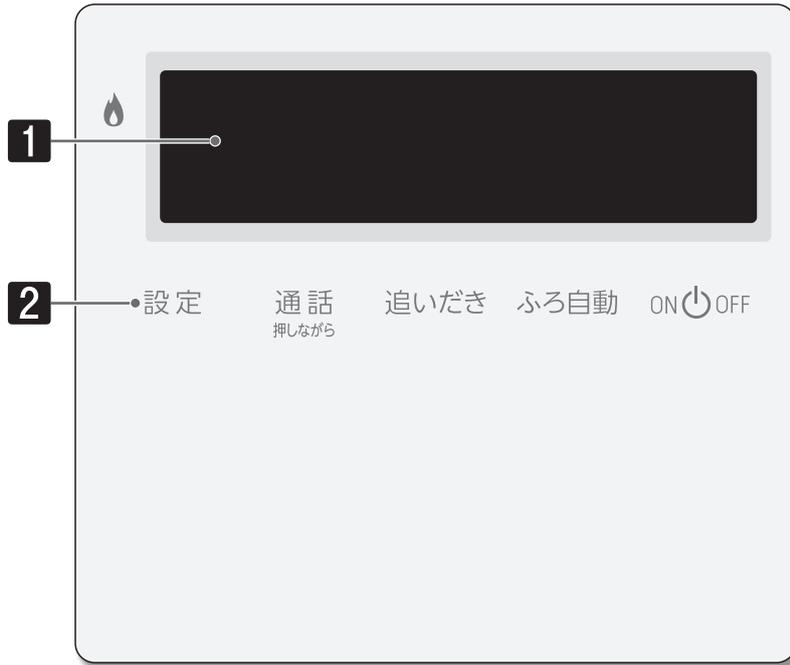
台所に設置して使用します。

操作をするときは、ON/OFF ボタンを「ON」(ランプ[緑]点灯)にしてご使用ください。

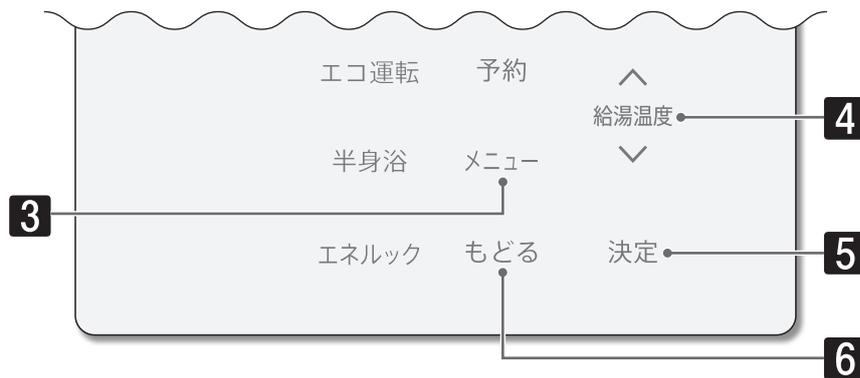
※即湯・即湯予約に関する内容のみ説明します。

※リモコンの型式によって、表示内容が異なります。詳しくは、リモコンの取扱説明書をご覧ください。

【メインボタン表示時】 各ボタンは、リモコンを「ON」にしたときに点灯します。



【サブボタン表示時】 以下のボタンは、設定ボタンを押すと点灯します。



1 表示画面

トップ画面やメニュー画面を表示します。

2 設定ボタン

サブボタンを点灯/消灯します。

3 メニューボタン

メニューを表示します。

4 給湯温度・上下ボタン

給湯温度の調節をします。

5 決定ボタン

選択したメニューや操作の決定をします。

6 もどるボタン

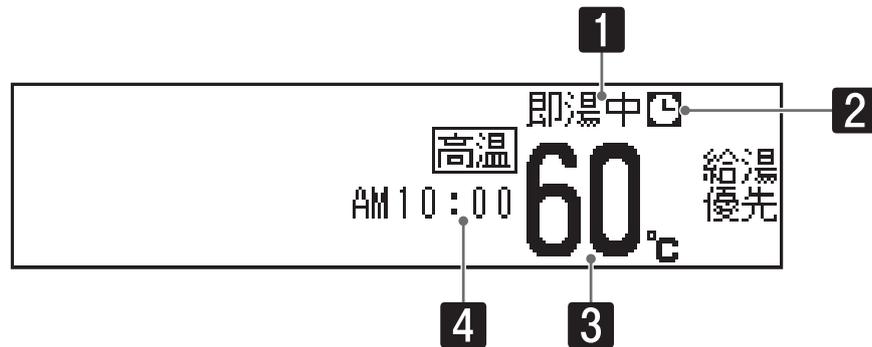
一つ前の画面を表示します。

各部の名称とはたらき

□表示画面

リモコンの表示画面を説明します。

※図のリモコンの画面表示は説明用で、実際の運転状態を示すものではありません。



1 即湯表示

即湯中・即湯予約中に表示します。

3 給湯温度表示

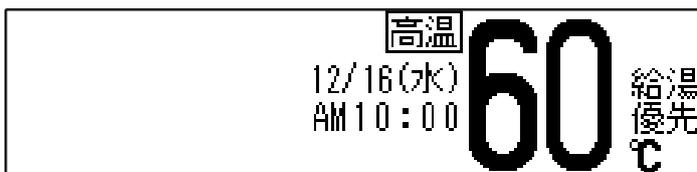
給湯温度を℃で表示します。

2 予約表示

即湯予約中に表示します。

4 時刻表示

現在日時を表示します。



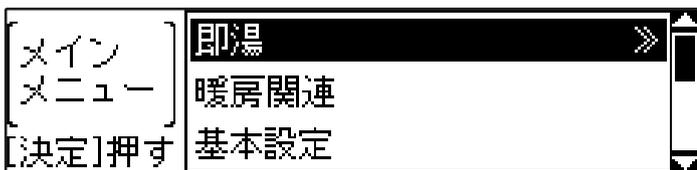
トップ画面

ON/OFF ボタンを「ON」にすると表示する画面です。
現在日時・給湯温度などを表示します。

□メニュー画面

代表的なメニュー画面です。

※ご使用状況により、表示される内容は本文中に掲載の画面と異なる場合があります。



メインメニュー画面

メニューボタンを押すと表示する画面です。



即湯メニュー画面

即湯の「入」「切」の切り替えや予約設定を行います。

各部の名称とはたらき

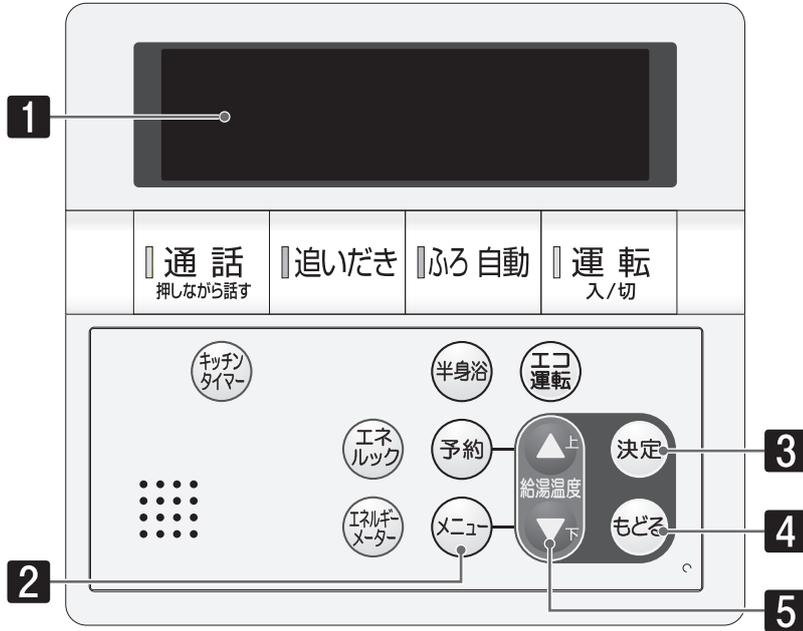
■台所リモコン《MC-712シリーズ》(別売品)

インターホン付:MC-713E(-FN)

インターホン無:MC-712E

台所に設置して使用します。操作をするとき以外はふたを閉めてご使用ください。

※リモコンのイラストは、ふたを開けた状態です。即湯・即湯予約に関する内容のみ説明します。



1 表示画面

トップ画面やメニュー画面を表示します。

2 メニューボタン

メニューを表示します。

3 決定ボタン

選択したメニューや操作の決定をします。

4 もどるボタン

一つ前の画面を表示します。

5 給湯温度ボタン(上下ボタン)

給湯温度の調節をします。

□表示画面

リモコンの表示画面を説明します。

※図のリモコンの画面表示は説明用で、実際の運転状態を示すものではありません。



1 時刻表示

現在日時を表示します。

3 予約表示

即湯予約中に表示します。

2 即湯表示

即湯中・即湯予約中に表示します。

4 給湯温度表示

給湯温度を°Cで表示します。



トップ画面

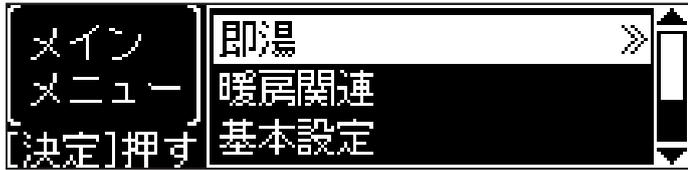
運転ボタンを「入」にすると表示する画面です。現在日時・給湯温度などを表示します。

各部の名称とはたらき

□メニュー画面

代表的なメニュー画面です。

※ご使用状況により、表示される内容は本文中に掲載の画面と異なる場合があります。



メインメニュー画面

メニューボタンを押すと表示する画面です。



即湯メニュー画面

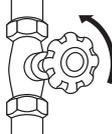
即湯の「入」「切」の切り替えや予約設定を行います。

ご利用前の準備

■機器の準備

はじめてお使いになるときは、まず機器の準備をします。
給湯機器の取扱説明書を併せてご参考ください。

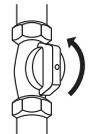
1 給水元栓を全開にする
給湯機器の下部にあります。
■システム図(→P.2)をご覧ください。



2 エア抜き動作を確実に行う
■再使用するとき(→P.16) **2**～**6**の操作を行ってください。

3 機器の点検・確認をする
■点検のポイント(→P.17)をご覧ください。

4 ガス栓を全開にする
給湯機器の周辺にあります。



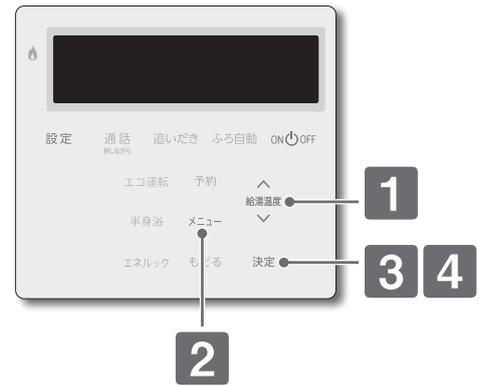
【ヒート交換器ユニットをご使用の場合】
熱媒元バルブを全開にする
給湯機器の周辺にあります。
配管は熱くなっているので触らないでください。

5 即湯ユニットおよび
給湯機器の電源プラグを
コンセントに差し込む
機器の周辺にあります。



■即湯運転のしかた

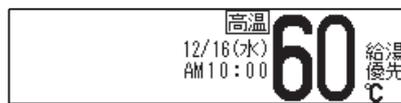
いつでもすぐにお湯が使えるように、配管内の水をあたため、保温をします。



警告

●熱いお湯が出るので、やけどに注意する。設定温度を低い温度に変更しても、配管内は設定変更前の温度になっています。

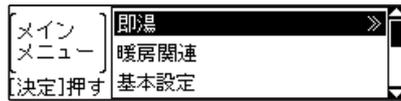
1 給湯温度を押し、給湯温度を60°Cに設定する



給湯温度、60°Cです
熱い温度にセットされました
注意してください

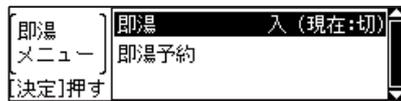
※60°C以外では即湯運転が行えません。

2 「メニュー」を押す



上下ボタンで選択して、決定ボタンを押してください

3 「即湯」が選択されていることを確認し「決定」を押す



※給湯温度が60°Cでない場合、決定ボタンを押すと“ピピピッ”と受け付け禁止音が鳴ります。

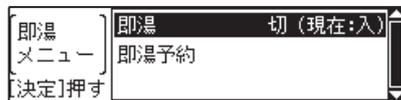
4 「即湯 入」が選択されていることを確認し「決定」を押す



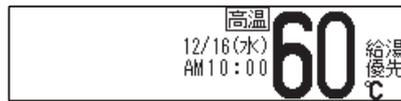
即湯中を表示し、優先が消えます。

即湯を解除

設定を押し、
2～**4**の操作をする



4の操作では、「即湯 切」が選択されていることを確認してください。



即湯中が消え、優先を表示します。

お願い

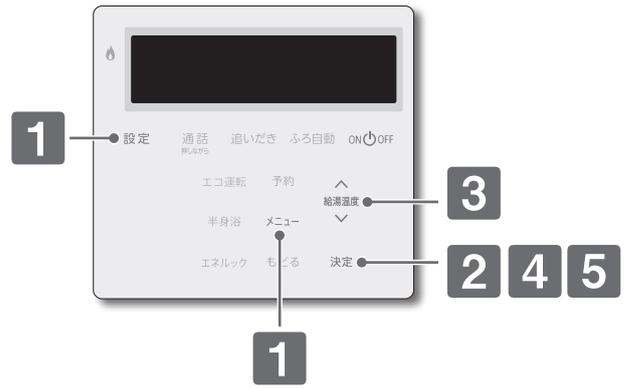
- 断水からの復帰後や長期間使用しなかった場合の使い始めのお湯は、飲用や調理用などに使用しないでください。飲用や調理用には適さない水が、給水配管内にとどまることがあります。

メモ

- 即湯ユニットは運転を開始しても、設定温度になるまでしばらく時間がかかります。
- 外気温などの影響により、お湯の温度は必ずしも設定温度にはなりません。目安としてお使いください。
- 外気温、配管、使用条件などにより、一時的にお湯の温度が下がる場合がありますが、故障ではありません。
- 即湯運転では、即湯運転開始後4時間経過すると自動的に即湯運転を停止します。

■予約で即湯運転をする

- ◆即湯予約運転は、セットした時刻にお湯が使用できるように自動的に即湯運転の「入」/「切」を行います。
- ◆予約の設定は、予約時刻の20分前までに設定してください。20分前より後の時刻に予約設定すると、設定した温度を得られない場合があります。
- ◆毎日同じ時刻に即湯運転をしたい場合は、を表示した状態にしておけば即湯運転の操作を何度も行う必要がありません。
- ◆現在時刻の設定方法は、リモコンの取扱説明書をご確認ください。



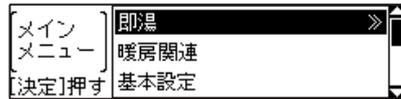
◎給湯温度を確認する(60℃以外では即湯運転が行えません)

◎現在時刻が合っているか確認する

◎即湯運転の予約時刻が合っているか確認する(→P.9) **1**~**4**の操作でご確認ください。

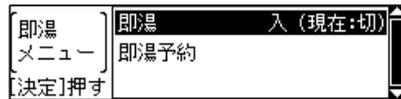
まずは準備

1 設定 を押し、メニュー を押す



上下ボタンで選択して、決定ボタンを押してください

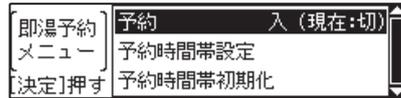
2 即湯 が選択されていることを確認し 決定 を押す



3 給湯温度 で 即湯予約 を選択する



4 決定 を押す



※予約時間帯が設定されていない場合は、**予約時間帯設定**のみを表示します。**予約時刻を新規で設定する**(→P.10)をご覧になり、予約時刻を設定してください。

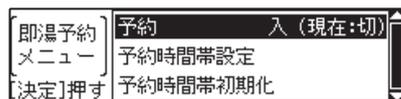
5 予約 入 が選択されていることを確認し 決定 を押す



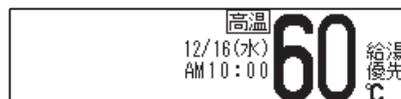
即湯を表示します。

予約を解除

1~**5**の操作をする



5の操作では、**予約 切**が選択されていることを確認してください。



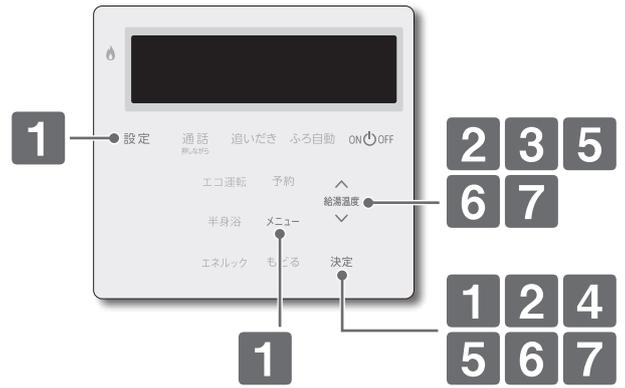
即湯が消えます。

メモ

- 即湯予約運転は、予約開始時刻の約20分前から運転を開始します。
- 即湯予約時刻の設定は工場出荷時、5:00~8:00、17:00~22:00に設定されています。設定を変更したいときは、**即湯予約時刻の変更のしかた**(→P.9)に従い変更してください。
- 設定時刻は、30分単位で設定が可能となります。

■即湯予約時刻の変更のしかた

- ◆即湯予約時刻の設定は記憶されるので、次回からはセットする必要がありません。
- ◆予約時刻は、30分単位で設定できます。
- ◆即湯予約でセットする時間帯は、1日の合計が8時間以内、最大16回まで設定することができます。
- ◆予約時刻は工場出荷時、5:00~8:00、17:00~22:00に設定されています。予約時刻を変更するには、8時間を超えないように解除してから設定してください。



- 1** **設定** を押し、**メニュー** を押す

即湯が選択されていることを確認し **決定** を押す

上下ボタンで選択して、決定ボタンを押してください
- 2** **給湯温度** ↑ ↓ で**即湯予約** を選択し、**決定** を押す
- 3** **給湯温度** ↑ ↓ で**予約時間帯設定** を選択する

※予約時間帯が設定されていない場合は、**予約時間帯設定**のみを表示します。予約時刻を新規で設定する(→P.10)をご覧になり、予約時刻を設定してください。
- 4** **決定** を押す

上下ボタンで入力して、決定ボタンを押してください
- 5** **給湯温度** ↑ ↓ で解除したい入時刻を入力する

決定 を押す

時間帯表示上で、解除したい時間帯部分が点滅します。

上下ボタンで入力して、決定ボタンを押してください
- 6** **給湯温度** ↑ ↓ で解除したい切時刻を入力する

決定 を押す

時間帯表示上で、解除したい時間帯部分が点滅します。

上下ボタンで選択して、決定ボタンを押してください
- 7** **給湯温度** ↑ ↓ で**解除** を選択する

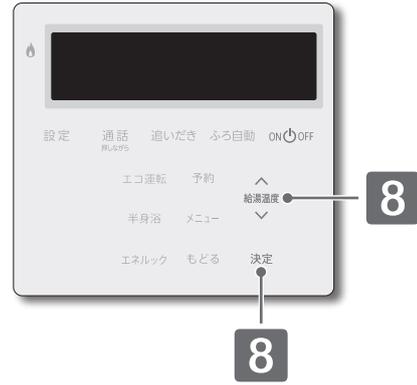
決定 を押す

6 の操作をしないまま30秒経過すると、時間帯設定を終了しトップ画面に戻ります。

解除されました

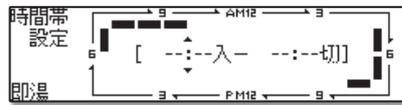
上下ボタンで選択して、決定ボタンを押してください

MC-910シリーズ 即湯運転をするには / 即湯予約時刻の変更のしかた



【複数の予約をする場合】

給湯温度 ↑ ↓
 で**追加**を選択し、
 [決定]を押す



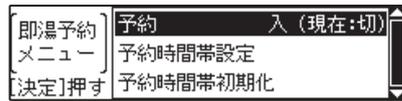
上下ボタンで入力して、決定ボタンを押してください

5～7の操作で、解除または設定したい時刻を入力します。

8

【終了する場合】

給湯温度 ↑ ↓
 で**終了**を選択し、
 [決定]を押す



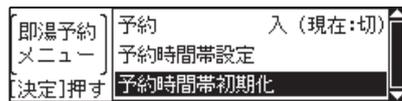
予約時刻を初期化する

「初期化」を行うと、記憶しているすべての予約時刻がリセットされます。

1～2の操作をする



給湯温度 ↑ ↓
 で**予約時間帯初期化**を選択する



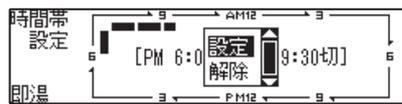
[決定]を押す



初期化されました

予約時刻を新規で設定する

1～6の操作で設定したい時刻を入力する



時間帯表示上で、設定したい時間帯部分が点滅します。

画面は、PM6:00～PM9:30に設定したい場合。

給湯温度 ↑ ↓
 で**設定**を選択し、
 [決定]を押す



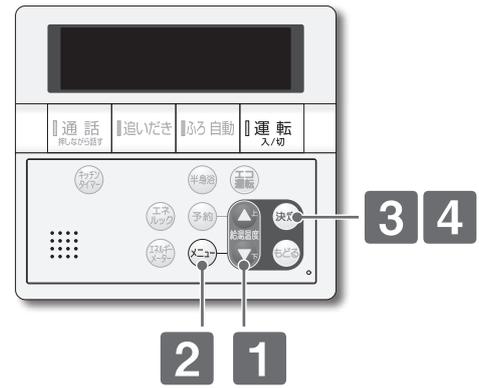
セットされました

上下ボタンで選択して、決定ボタンを押してください

続けて予約時刻を設定したい場合は**追加**で [決定] を押し、再度 5～6の操作を行います。
終了で [決定] を押し、設定を完了し即湯予約メニュー画面に戻ります。

■即湯運転のしかた

いつでもすぐにお湯が使えるように、配管内の水をあたため、保温をします。



警告

●熱いお湯が出るので、やけどに注意する。設定温度を低い温度に変更しても、配管内は設定変更前の温度になっています。

1 給湯温度を60℃に設定する



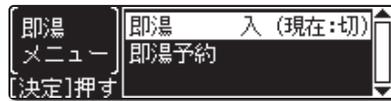
給湯温度、60℃です
熱い温度にセットされました
注意してください
※60℃以外では即湯運転が行えません。

2 ふたを開け(メニュー)を押す



上下ボタンで選択して、決定ボタンを押してください

3 即湯が選択されていることを確認し(決定)を押す



※給湯温度が60℃でない場合、決定ボタンを押すと“ピッピッピ”と受け付け禁止音が鳴ります。

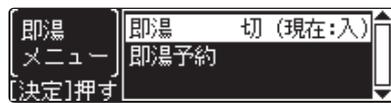
4 即湯入が選択されていることを確認し(決定)を押す



即湯中表示し、優先が消えます。

即湯を解除

2 ~ **4** の操作をする



4 の操作では、即湯切が選択されていることを確認してください。



即湯中が消え、優先を表示します。

お願い

- 断水から復帰後や長期間使用しなかった場合の使い始めのお湯は、飲用や調理用などに使用しないでください。飲用や調理用には適さない水が、給水配管内にとどまることがあります。

メモ

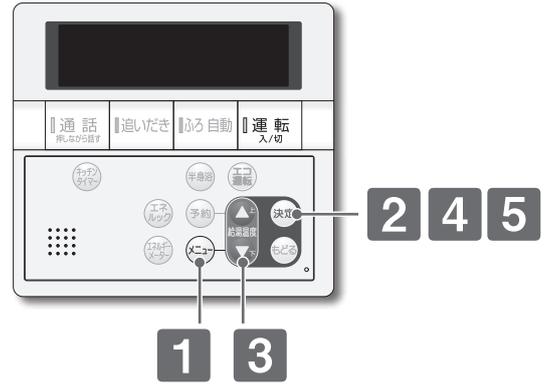
- 即湯ユニットは運転を開始しても、設定温度になるまでしばらく時間がかかります。
- 外気温などの影響により、お湯の温度は必ずしも設定温度にはなりません。目安としてお使いください。
- 外気温、配管、使用条件などにより、一時的にお湯の温度が下がる場合がありますが、故障ではありません。
- 即湯運転では、即湯運転開始後4時間経過すると自動的に即湯運転を停止します。

即湯運転をするには

《MC-712シリーズ》

■予約で即湯運転をする

- ◆即湯予約運転は、セットした時刻にお湯が使用できるように自動的に即湯運転の「入」/「切」を行います。
- ◆予約の設定は、予約時刻の20分前までに設定してください。20分前より後の時刻に予約設定すると、設定した温度を得られない場合があります。
- ◆毎日同じ時刻に即湯運転をしたい場合は、を表示した状態にしておけば即湯運転の操作を何度も行う必要がありません。
- ◆現在時刻の設定方法は、リモコンの取扱説明書をご確認ください。



まずは準備

- ◎給湯温度を確認する(60℃以外では即湯運転が行えません)
- ◎現在時刻が合っているか確認する
- ◎即湯運転の予約時刻が合っているか確認する(→P.13) **1**～**4**の操作でご確認ください。

1 ふたを開け(メニュー)を押す



上下ボタンで選択して、決定ボタンを押してください

2 即湯が選択されていることを確認し(決定)を押す



3 給湯温度で即湯予約を選択する



4 (決定)を押す



※予約時間帯が設定されていない場合は、予約時間帯設定のみを表示します。予約時刻を新規で設定する(→P.14)をご覧になり、予約時刻を設定してください。

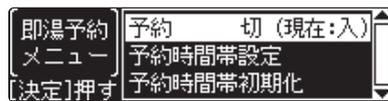
5 予約入が選択されていることを確認し(決定)を押す



即湯  を表示します。

予約を解除

1～**5**の操作をする



5の操作では、予約切が選択されていることを確認してください。



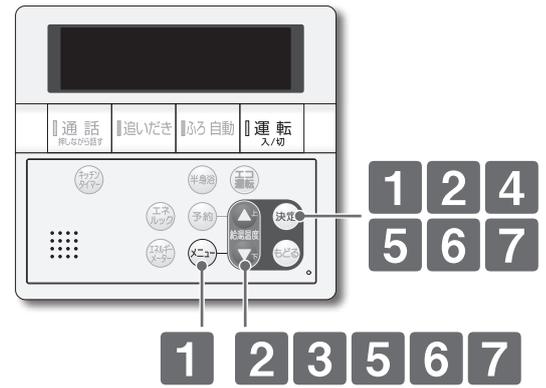
即湯  が消えます。

メモ

- 即湯予約運転は、予約開始時刻の約20分前から運転を開始します。
- 即湯予約時刻の設定は工場出荷時、5:00～8:00、17:00～22:00に設定されています。設定を変更したいときは、**■即湯予約時刻の変更のしかた**(→P.13)に従い変更してください。
- 設定時刻は、30分単位で設定が可能となります。

■即湯予約時刻の変更のしかた

- ◆即湯予約時刻の設定は記憶されるので、次回からはセットする必要がありません。
- ◆予約時刻は、30分単位で設定できます。
- ◆即湯予約でセットする時間帯は、1日の合計が8時間以内、最大16回まで設定することができます。
- ◆予約時刻は工場出荷時、5:00~8:00、17:00~22:00に設定されています。予約時刻を変更するには、8時間を超えないように解除してから設定してください。



1 ふたを開け(メニュー)を押す

即湯が選択されていることを確認し(決定)を押す



※運転ボタンの「入」/「切」に関係なく操作ができます。

上下ボタンで選択して、決定ボタンを押してください

2 上下ボタンで即湯予約を選択し、(決定)を押す



3 上下ボタンで予約時間帯設定を選択する



※予約時間帯が設定されていない場合は、予約時間帯設定のみを表示します。予約時刻を新規で設定する(→P.14)をご覧になり、予約時刻を設定してください。

4 (決定)を押す



上下ボタンで入力して、決定ボタンを押してください

5 上下ボタンで解除したい入時刻を入力する
(決定)を押す



時間帯表示上で、解除したい時間帯部分が点滅します。



上下ボタンで入力して、決定ボタンを押してください

6 上下ボタンで解除したい切時刻を入力する
(決定)を押す



時間帯表示上で、解除したい時間帯部分が点滅します。



上下ボタンで選択して、決定ボタンを押してください

7 上下ボタンで解除を選択する
(決定)を押す



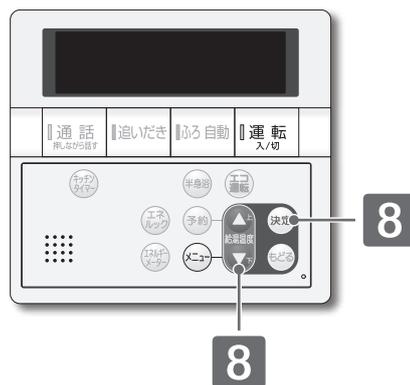
6の操作をしないまま30秒経過すると、時間帯設定を終了しトップ画面に戻ります。



解除されました

上下ボタンで選択して、決定ボタンを押してください

MC-712シリーズ 即湯運転をするには/即湯予約時刻の変更のしかた



【複数の予約をする場合】

8 上下ボタンで追加を選択し、決定を押す



上下ボタンで入力して、決定ボタンを押してください

5～7の操作で、解除または設定したい時刻を入力します。

【終了する場合】

上下ボタンで終了を選択し、決定を押す



予約時刻を初期化する

「初期化」を行うと、記憶しているすべての予約時刻がリセットされます。

1～2の操作をする



上下ボタンで予約時間帯初期化を選択する



決定を押す



初期化されました

予約時刻を新規で設定する

1～6の操作で設定したい時刻を入力する



時間帯表示上で、設定したい時間帯部分が点滅します。

画面は、PM6:00～PM9:30に設定したい場合。

上下ボタンで設定を選択し、決定を押す



セットされました

上下ボタンで選択して、決定ボタンを押してください

続けて予約時刻を設定したい場合は追加で決定を押し、再度5～6の操作を行います。

終了で決定を押すと、設定を完了し即湯予約メニュー画面に戻ります。



冬期の凍結予防をするには

お願い

- 暖かい地域でも、機器や配管内の水が凍結して破損事故が起こることがあります。以下をお読みいただき、必要な処置をしてください。
- 凍結により機器や配管が損傷した場合の修理費は、保証期間内でも有料となります。

処置 1

← 通常の寒さのとき

処置 2

← 外気温が-15℃を下回るとき -15℃より高くても風のある日
長期間使用しないとき

処置 1

凍結予防装置による方法

機器には、気温が下がってくると自動的に機器内を保温する凍結予防ヒータと、自動的に配管内の水（お湯）を循環して機器内の凍結を予防する、凍結予防装置がついています。

機器の電源プラグは、抜かない

電源プラグを抜く、または分電盤のブレーカーを「切」にすると凍結予防装置がはたらきません。

- ◆凍結予防装置は、運転の「入」/「切」に関係なく作動します。
- ◆配管は凍結することがあります。配管は必ず保温材を巻くなど、地域に応じた処置をしてください。

注意

- 使用後すぐに水抜きをしない。やけどのおそれがあります。機器やお湯が高温になっていますので冷えてから行ってください。
- 水抜きの操作をすると、機器本体だけでなく配管の水も出てきます。水が流れては不都合な場所では、あらかじめ容器を用意して水を受けてください。



必ず行う

給湯機器の水抜き操作を行う前に、以下の方法で即湯ユニットの水抜きを行ってください。

処置 2

機器の水を抜く方法

入居前や長期不在で分電盤のブレーカーを「切」にする場合や、電源プラグを抜く必要がある場合には、この方法で機器内の水を排出し凍結予防をします。

排水後は、次にお使いになるまでそのままにしておいてください。

1 給水元栓を閉める

給湯機器の下部にあります。
■システム図(→P.2)をご覧ください。

2 すべての給湯栓を全開にする

サーモスタット式混合水栓やシングルレバー式混合水栓の場合は、最高温度の位置に設定してください。

3 水抜き栓(1)(2)を外し、水が出ることを確認する

給湯機器と即湯ユニットの接続配管に水抜き用バルブが設置されている場合は、同時に接続配管の水抜きも行ってください。

水抜き栓の位置は、□水抜き栓位置図(→P.16)をご覧ください。

4 台所リモコンを「ON」または「入」にし、即湯を「入」にする

■即湯運転のしかたをご覧ください。
MC-910シリーズは(→P.7)
MC-712シリーズは(→P.11)

5 リモコンにアラーム番号“428-02”を表示するまで1分待ち、表示後5分程そのままにしてから、すべての水抜き栓を閉める

この場合のアラーム“428-02”は異常ではありません。

6 電源プラグを抜く

リモコンにアラーム番号“768-01”が表示されますが、そのまま給湯機器の水抜きを行ってください。
※ヒーツ熱交換器ユニットをご使用の場合、この操作での水抜きは不要です。

冬期の凍結予防をするには

■再使用する時

水抜き後、再度使用する時は次の操作をしてください。



注意

●再使用前にエア抜きをする。即湯ユニットの水抜きを行った後、再使用する際には、配管のエア抜きが必要となります。エア抜きが不十分な場合、即湯運転ができないばかりでなく、ユニットの破損・故障の原因となります。



必ず行う

給湯機器の再使用操作を行ってから、以下の方法で即湯ユニットの再使用操作を行ってください。

- 1 給湯機器のリモコンが、「OFF」または「切」になっていることを確認する
- 2 すべての水抜き栓が閉めてあることを確認する
- 3 給水元栓とすべての給湯栓を開ける
配管内のエアが抜け、水が正常に出るのを確認し、すべての給湯栓を閉める
- 4 即湯ユニットの給湯往口のメンテナンス用バルブを閉め、水抜き栓(1)を外し、水が出ることを確認する
- 5 即湯ユニットの給湯戻口のメンテナンス用バルブを閉め、給湯往口のメンテナンス用バルブを開け、水抜き栓(1)から水が出ることを確認する
- 6 水抜き栓(1)を閉め、即湯ユニットの給湯戻口のメンテナンス用バルブを開ける
- 7 電源プラグをコンセントに差し込む

水抜き栓の位置は、□水抜き栓位置図(下記参照)をご覧ください。

サーモスタット式混合水栓やシングルレバー式混合水栓の場合は、最高温度の位置に設定してください。十分な流量で確実にエア抜きを行ってください。

確実にエア抜きを行ってください。メンテナンス用バルブの位置は、■即湯ユニット(→P.2)をご覧ください。

確実にエア抜きを行ってください。

お願い

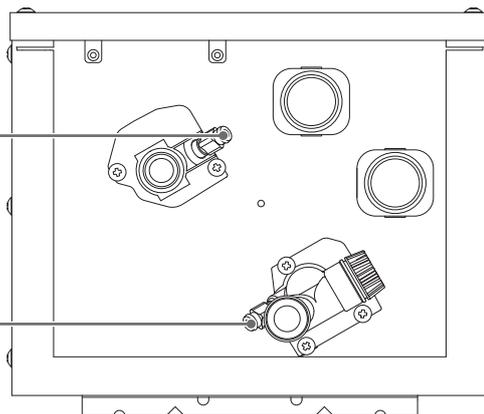
- 再使用する時は、すべての水抜き栓が確実に閉めてあることを確認してください。閉めかたが不十分だったり閉め忘れたりすると、そこから水漏れします。

□水抜き栓位置図

— 下から見た図 —

水抜き栓(1)

水抜き栓(2)



点検のポイント・お手入れのしかた

 警告	<ul style="list-style-type: none"> ●機器本体や、リモコンを分解したりしない。 	 分解禁止
 注意	<ul style="list-style-type: none"> ●台所リモコンは防水タイプではないので、水をかけない。リモコンの内部には電気部品が入っていますので故障の原因になります。 ●リモコンのお手入れには、シンナー・アセトン・ベンジンなどの有機溶剤や洗剤（塩素系洗剤・酸性洗剤・アルカリ性洗剤）、みがき粉（研磨剤の入った洗剤）、メラミンスポンジやたわしなどを使用しない。リモコン本体の変色や変形・傷・割れなどの原因になります。 	 禁止
	<ul style="list-style-type: none"> ●機器本体のお手入れは、電源プラグを抜き、機器が冷えてから行う。また、けがなどしないように、手袋などを着用し十分注意してください。 	 必ず行う

■点検のポイント(月1回程度)

次の4つのポイントで点検してください。

1. 機器および配管から水漏れはありませんか？
水漏れは、機器の故障だけでなくお隣や階下の方にも多大な迷惑をかけます。
2. 運転中に機器から異常音が聞こえませんか？
3. 機器の外観に異常は見られませんか？
4. 給湯戻口のフィルターは、汚れていませんか？



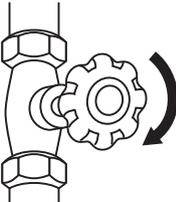
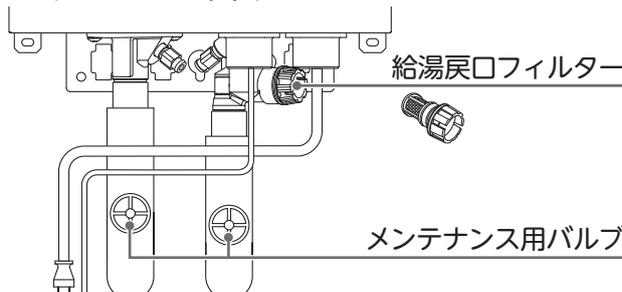
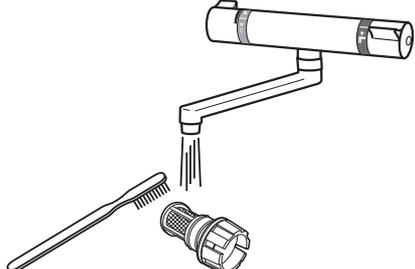
■お手入れのしかた(月1回程度)

即湯ユニットおよびリモコンのお手入れ

- 汚れは、湿ったやわらかい布で軽く拭き取ってください。それでも落ちない汚れは、台所用中性洗剤（野菜・食器洗い用）を少量含ませて、軽くふき取ってください。
- 台所用中性洗剤（野菜・食器洗い用）以外の洗剤などは、使わないでください。変色・変形する場合があります。

■給湯戻口フィルターの掃除

給湯戻口フィルターがつまると、お湯の出が悪くなる場合があります。その時は、次の要領で給湯戻口フィルターを掃除してください。（特に、新築の場合）

- 1 給水元栓を閉める
 
- 2 給湯往口・戻口のメンテナンス用バルブを閉めてから給水戻口にある給湯戻口フィルターを外す
 
- 3 歯ブラシなどで洗う
 
- 4 元のように取り付ける
- 5 メンテナンス用バルブと給水元栓を全開にする

お願い

- 安全にお使いいただくために、点検・お手入れは月1回程度必ず行ってください。
- 故障または破損したと思われるときは使用しないでください。このときご家庭で修理せず、お買い上げの販売店、または最寄りのガス会社へご連絡ください。

故障かな?と思ったら

給湯機器本体付属の取扱説明書も併せてご覧ください。

機器	
こんなとき	こんなことが考えられます/ここを調べてください
即湯機能がはたらかない (給湯栓を開けてしばらくしないと お湯が出ない)	電源プラグがコンセントに差し込まれていますか。 停電していませんか。 即湯運転は「入」になっていますか。 ※MC-910シリーズは(→P.7)、MC-712シリーズは(→P.11) 即湯配管のエア抜きは十分ですか。(→P.16) 給湯戻り口フィルターが詰まっていますか。 給湯戻り口フィルターの掃除をしてください。(→P.17)
お湯が出ない	給湯機器本体付属の取扱説明書をご確認ください。
雷が鳴ったあと機器が作動しない	落雷の際に、機器内の漏電安全装置が作動したことが考えられます。 この場合は電源プラグを一度抜き、再度差し込んでください。それでも使用できない ときはお買い上げの販売店、または最寄りのガス会社へご連絡ください。
即湯ユニットの音が大きい	給湯戻り口フィルターが詰まっていますか。 給湯戻り口フィルターの掃除をしてください。(→P.17)
即湯運転をしていないのに ときどきポンプが動く	配管内の凍結予防や循環ポンプの固着防止のため、即湯ユニットを使用していなくても ポンプが動きます。(お湯を温めることはありません。)
即湯表示が点滅表示する	機器の点検を行っています。終了後、点灯表示に変わります。
エコ運転ボタンを押すと受け付け 禁止音が鳴る ECOまたはECOが消える	即湯運転中は、エコ運転がはたらきません。

◇その他の症状については、給湯機器本体付属の取扱説明書をご覧ください。

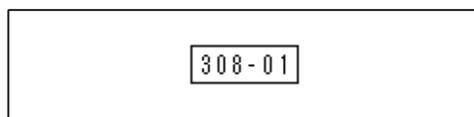
■アラーム表示について

機器に不具合が生じたとき、アラーム番号でお知らせします。

アラーム番号が点滅表示したときは、不具合の内容と表示されているアラーム番号をお買い上げの販売店、
または最寄りのガス会社へご連絡ください。

アラーム番号は画面に囲み線が表示されます。

【MC-910シリーズリモコン】



【MC-712シリーズリモコン】



以下の場合には、お買い上げの販売店、または最寄りのガス会社へご連絡ください

アラーム番号	原因	状態
308	外気温サーミスタ断線・短絡	修理を依頼する。
328	入水温サーミスタ断線・短絡	
428	流量センサー故障	修理を依頼する。 ※冬期の凍結予防時の場合は、異常ではありません。
638	ポンプ故障	給湯戻り口フィルターを掃除する。(→P.17) 処置をしてもなお、アラームが表示されるときは、修理を依頼する。
708	電装基板故障	修理を依頼する。
768	通信異常	修理を依頼する。 ※冬期の凍結予防時の場合は、異常ではありません。 機器の水を抜く方法(→P.15)

◇その他表示されるアラーム番号については、給湯機器付属の取扱説明書をご覧ください。

〔仕様表〕

項 目		内 容	
型 式 名		QB-5	
設 置 方 式		屋外壁掛、屋内壁掛設置形	
能力(kW) (給湯流量5ℓ)	給湯戻り温度	5℃	21.98(18,900kcal/h) 12.6号
		32℃	12.56(10,800kcal/h) 7.2号
		60℃	2.79(2,400kcal/h) 1.6号
加 熱 方 式		給湯直接加熱方式(ポンプ循環)	
給湯温度制御方式		熱源機給湯制御、ポンプ循環	
使 用 水 圧		0.1~1MPa(1.0~10.0kgf/cm ²)	
外 形 寸 法		高さ 337mm × 幅 252mm × 奥行 205mm	
製 品 質 量		6kg	
配管口径	給湯(往口・戻口)	15A(R1/2)	
電 源	電 源	AC100V	
	リ モ コ ン	24V以下	
	消 待 機 時	1W以下	
	使 用 時	45W	
特 性	凍結予防作動時	65W	
安 全 装 置		凍結予防装置(電気ヒーター+ポンプ運転) 漏電安全装置(漏電リレー方式) 誘導雷保護装置(サージアブソーバー方式)	

アフターサービスについて

サービスを依頼されるときは

- 「故障かな?と思ったら」(→P.18)をご確認ください。それでも直らない場合、あるいはご不明の場合にはご自分で修理なさらないで、お買い上げの販売店、または最寄りのガス会社へご連絡ください。
- アフターサービスをお申しつけの際は、次のことをお知らせください。
 - (1)お名前・ご住所・電話番号・道順(付近の目印など)
 - (2)型式名:QB-5
 - (3)現象
故障または異常内容、アラーム番号などできるだけ詳しく。
 - (4)訪問ご希望日

保証について

- この取扱説明書の裏表紙が保証書になっています。必ず「販売店名・お買い上げ日」などの記入をお確かめになり、保証内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- 保証書を紛失されますと、保証期間内であっても修理費をいただくことがありますので、大切に保管してください。
- 保証期間経過後の故障修理については、修理により製品の機能が維持できる場合は、ご希望により有料で修理いたします。

補修用性能部品の保有期間について

- この製品の補修用性能部品(機能維持のために必要な部品)の保有期間は製造打切り後10年です。

転居または機器を移設される場合

- 転居・増改築などのため機器を移設される場合、工事には専門の技術が必要となりますので、必ずお買い上げの販売店、または最寄りのガス会社へご連絡ください。
- 設置場所の選定にあたっては、運転音や振動が大きく伝わらないような場所をお選びください。また、機器本体の運転音が隣家の迷惑にならないような場所を選ぶなど、ご配慮ください。
- 転居、移設にともなう調整や工事の費用は、保証期間内でも有料となります。

長期間使用しない場合

- 長期間使用しない場合は**機器の水を抜く方法**(→P.15)をご確認ください。
※機器の故障や凍結を防止するため。

アフターサービスなどについてわからないとき

- お買い上げの販売店、または最寄りのガス会社へお問い合わせください。

商品保証書

即湯ユニット

型式名 QB - 5

お買い上げ日	年 月 日			保証期間	2年
お客様	ご芳名	様			
	ご住所				
販売店	店名	電話番号			扱者印
	住所				印

お客様へ

- この保証書をお受取りになるときにお買い上げ日、販売店名、扱者印が記入してあることを確認してください。
- 本証書は再発行いたしませんので紛失されないよう大切に保管してください。

上記機器をお買い上げいただきましてありがとうございます。この保証書はおお客様の通常のご使用により万一故障した場合には、本書記載内容で無料修理をお約束するものです。

記

- (1) 保証期間は上記品名の機器をお買い上げの日から2年間とし機器本体を対象とします。
- (2) 万一故障の場合はお買い上げの販売店または、弊社修理受付センターへお申し出ください。原則として出張修理をいたします。なお、離島および離島に準ずる遠隔地へのお出張修理を行った場合、出張に要する実費を申し受けます。
- (3) サービス員が参上したときに本証書をお示しください。紛失されますと有料修理となる場合があります。
- (4) 保証期間中でありましても次の場合には有料修理となります。
 - (イ) 当製品の取扱説明書、又は貼付ラベル等のご案内によらないでのご使用になり故障した場合。
 - (ロ) 当製品の工事説明書によらないで施工されたり、専門業者以外による修理、移動、改造等を行ったことにより故障した場合。
 - (ハ) 設置環境の経年変化に伴う故障、及び塗装の色褪せ・摩擦等により生ずる機能に影響ない変化。
 - (ニ) 海岸付近・温泉地等の地域における腐食性の空気環境に起因する機能に影響ない変化。
 - (ホ) ねずみ・くも等の生物活動に起因する故障。
 - (ヘ) 住宅用途以外(例えば業務用・船舶・車両上でのご使用)にてご使用された場合の故障。
 - (ト) 火災・地震・洪水・落雷等の天変地異、凍結又は暴動等の破壊行為による故障。
 - (チ) ガス・電気・給水の供給トラブルによる故障。
 - (リ) 熱量変更、又は移動等に伴う調整、確認作業。
 - (ヌ) 給水・給湯配管の錆び等異物混入による故障。
 - (ル) 温泉水・井戸水をご使用になったことによる故障。
 - (ヲ) 水道法に定められた飲料水の基準に適合しない水をご使用になったことによる故障。
- (5) 本書は、日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.
- (6) この保証書によって保証書を発行している者、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- (7) 商品や技術のお問い合わせ等はお買い上げの販売店または、弊社お客様相談室へお問い合わせください。

パーパス株式会社



〒417-8505 静岡県富士市西柏原新田201